

報道関係各位

国立がん研究センター 新研究棟竣工のご案内

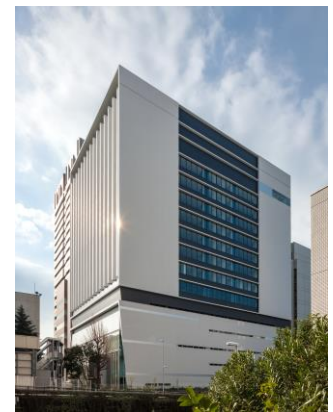
2017年9月12日

国立研究開発法人国立がん研究センター

国立研究開発法人国立がん研究センター(理事長:中釜 斉、所在地:東京都中央区)築地キャンパスに建設中の新研究棟がこの程竣工し、研究所、社会と健康研究センターと新たに企業連携ラボを配置しスタートする運びとなりましたのでご案内いたします。

新研究棟のコンセプト

新研究棟では、国立がん研究センターが将来にわたり我が国のがん研究を牽引し、世界的競争力のある研究を推進するとともに、研究成果の社会還元・臨床応用を実現します。そのために、高度な研究機能の充実に加えて、臨床部門・公衆衛生部門と基礎研究部門とがシームレスに連携するための工夫を凝らしました。また、基盤的臨床開発研究コアセンターと共通機器室を設置し、世界最高水準のコアファシリティ機能を提供します。患者さんの善意に基づき、我が国の研究基盤としての NCC バイオバンクも拡充します。さらに、外部研究機関・民間企業との連携をするために、企業連携ラボを設置しました。これらを支えるために、安全性と柔軟性を担保した構造となっています。



1. 高度な研究機能と臨床応用を促進する機能

- ◇ 臨床部門(中央病院・東病院)・公衆衛生部門との交流経路・スペースの確保、資源の共有
- ◇ コアファシリティ機能の強化(基盤的臨床開発研究コアセンター、共通機器室、動物実験室等)
- ◇ 研究基盤としてのバイオバンクや生物研究資源の拡充(NCC バイオバンク)
- ◇ 外部研究機関・民間企業との連携強化(企業連携ラボ)
- ◇ 若手研究者の育成や研究者間の交流促進を重視した設計(オープンラボ、オープンオフィス、講堂、セミナールーム、ラウンジ、吹抜け階段)

2. 安全性と柔軟性を担保した構造

- ◇ 地震・津波・火災等の災害に対する十分な対策(免震構造、全ての実験室・機械室は2階以上に配置)
- ◇ 科学技術の発展・社会的要望の変化・組織改革などの将来の様々な変化にも柔軟に対応できる施設(オープンラボ、ラボサポート、オープンオフィス、共通機器室)

竣工日： 2017 年 3 月 31 日

延べ床面積： 地上 14 階建て 33,500 m²

- 14F 研究所
動物実験室
- 13F 研究所
細胞情報学分野／がんゲノミクス研究分野／分子腫瘍学分野／臨床ゲノミクス研究ユニット
- 12F 研究所
ゲノム生物学研究分野／造血器腫瘍研究分野／がん患者病態生理研究分野／分子病理分野
分子発がん研究ユニット
- 11F 研究所
がん分化制御解析分野／腫瘍生物学分野／脳腫瘍連携研究分野／難治進行がん研究ユニット
基礎腫瘍学ユニット
- 10F 研究所
分子細胞治療研究分野／がん幹細胞研究分野／がん分子修飾制御学分野／連携研究室
体液中 miRNA PJ
- 9F 研究所
エピゲノム解析分野／腫瘍免疫研究分野／希少がん研究分野／発がん・予防研究分野
分子薬理研究分野
- 8F 研究所
基盤的臨床開発研究コアセンター
- 7F 社会と健康研究センター
- 4F 研究所
RI 実験室／共通機器室
- 3F 企業連携ラボ
- 2F 研究所
所長室／副所長室／バイオバンク
- 1F 大会議室／セミナールーム／赤ちゃん・ふらっと

<報道関係のお問い合わせ・お申込み先>

国立研究開発法人国立がん研究センター 企画戦略局 広報企画室

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL: 03-3542-2511 FAX: 03-3542-2545 E-mail: ncc-admin@ncc.go.jp